

令和 5 年 3 月 28 日
ホーク・プロシード株式会社
代表取締役社長 岡村 俊裕

当社における DX 戦略について

1. はじめに

当社は「良いモノを、より安く、タイムリーに」という理念を掲げ、高品質・短納期・低コストで、お客様から仕入れ先様まで皆様から選ばれる会社であり続けるために、事業変革を進めています。長期的な視点にはなりますが、日本の人口推移予測を見れば、生産人口の減少は避けられません。この状況では、人材確保、社内業務効率化が必須となるとともに、量産機械は自動化・無人化を実現する機能がさらに大きな付加価値を持つ時代が来ます。時代の急激な変化に対応しつつ、お客様の生産性向上に長く貢献できる信頼性の高い部品を提供し、そして、そのサポートを十分に供給できる体制を強化します。当社はデジタル技術を導入し、情報発信体制を構築し、ソリューションを製造業に提供して参ります。

2. DX 戦略概要

① 動画制作能力の強化 動画撮影・編集できる人材を、採用・育成し、以下の様に動画活用を推進します。販促用動画の供給体制を強化。電子化・動画化してオンラインで公開。採用活動の動画利用促進。動画で分かる社員・業務紹介。中国での加工の様子を動画化。

② 現在、伝票処理を紙で行っており、会社での作業・客先への直接のお届けが必要であったことから、事務処理の負荷が増大していました。「クラウド」を導入。同サービスでは「工程管理」「見える化」「帳票管理」「在庫管理」「見積もり管理」の5つの製造DXアプリケーションをクラウド上で利用し、効率化を図ります。クラウド業務管理で働き方変革につながるペーパーレス化を実現し、クラウド上で伝票処理ができるので、端末があればどこでも承認可能になり、客先へはIDで管理された伝票をPDF送付できるので時間短縮につながり人材不足に対応していきます。

また、図面を図番で管理を行い、現在だと資料倉庫からさがしているものを、システムで管理し、リポート品や類似品にも即時対応していく。

社内システムを最適化し、業務の効率化をはかり、信頼性の高いお見積りを迅速に行う体制を構築します。そのために、提携工場からの見積りを一気通貫したシステム上の情報連携の展開を実現します。社内業務の効率化 社内システムを最適化し、品質の安定

化と業務の効率化をはかり、信頼性の高い見積りを迅速に行う体制を構築します。
そのために、提携工場からの見積りを一気通貫したシステム上の情報連携の展開を実現します。

3. DX 推進体制

ホーク・プロシード株式会社代表取締役社長を実務責任者とします。

また、クラウドシステム導入・動画の撮影・編集は教育を行い、新規採用・IT パスポートなどの資格取得を推進も進めています。

自社の基幹システムのサーバをオンプレミスからクラウドシステムの利用により、横断的な業務システムを内製的に構築することで、在宅ワークでも、迅速な情報共有が可能な環境を整える。自然災害・大火災・テロ攻撃などの大規模災害が発生した場合でも、システムを安定稼働させ、事業継続ができるよう BCP 体制を強化しました。

4. 達成度を測る指標 取り組み達成の指標（戦略 KPI）として、下記を設定しています。

1、業務効率化による：新規取引企業数

2、IT 化の促進：在宅ワーク率

3、デジタル人材の育成：資格取得数

※業務の効率化により作業時間の削減も期待できることから、新規販路開拓を実施する。

※在宅ワーク率を3年以内に40%にする。

※IT パスポートなどの情報処理検定の取得率を2年以内に50%にする。

以上